



## 殺菌剤

# グリーンダイセン™ M 水和剤

畑作用殺菌剤  
(Greendithane™ WP)

農林水産省登録  
第 2 2 3 4 4 号



種類名／マンゼブ水和剤

有効成分の種類及び含有量／マンゼブ<PRTR1種>……………80.0%

その他の成分の種類及び含有量／界面活性剤、色素 等……………20.0%  
(内ヘキサメチレンテトラミン<PRTR1種>3%)

物理的・化学的性状／淡緑色水和性粉末 45μm以下

毒劇法／該当なし

消防法／該当なし

有効年限／5年

包装／1kg×20袋 ダンボール箱、2kg×10袋 ダンボール箱  
10kg×2袋 ダンボール箱

TM：デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標

## 特長

- マンゼブは、ジチオカーバメート系の保護殺菌剤で、植物体上に付着して主として孢子発芽を強く抑制する事により病原菌の侵入を阻害し、殺菌効果を発揮します。
- SH酵素などの多作用点を阻害するので、薬剤耐性が発達しにくく他剤の耐性菌対策としても効果が期待できます。
- 優れた製剤技術により、安定した防除効果・優れた耐雨性・残効性を発揮します。薬害のおそれが少ない薬剤です。
- ばれいしょ・てんさいでは、無人航空機による散布、又は少量散布ができます。

## 適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	マンゼブを含む 農薬の 総使用回数	使用 方法		
ばれいしょ	疫病 夏疫病	400~600	100~300 ℓ	収穫7日前まで	10回以内	10回以内 (無人航空機散布 は3回以内)	散布		
	疫病	100	25 ℓ		3回以内			無人航空機 による散布	
		8	3.2 ℓ						
てんさい	褐斑病	400~600	100~300 ℓ	収穫21日前まで	5回以内	5回以内	散布		
		125	25 ℓ				無人航空機 による散布		
		8	1.6 ℓ						
たまねぎ	べと病、さび病 黒斑病 灰色かび病	400~600	100~300 ℓ	収穫3日前まで	6回以内	6回以内	散布		
	白色疫病	400~500							
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	500		収穫終了後 但し、秋期まで				6回以内	6回以内
あずき	茎疫病 さび病			収穫30日前まで				3回以内	3回以内
だいず	べと病	400		収穫45日前まで				7回以内	7回以内
すいか	炭疽病、べと病 つる枯病、疫病 褐斑細菌病	400~600		収穫7日前まで				7回以内	7回以内
メロン	炭疽病、べと病 つる枯病、疫病 斑点細菌病			5回以内				5回以内	
かぼちゃ	炭疽病、べと病 つる枯病、疫病	600		収穫21日前まで				2回以内	2回以内
キャベツ	べと病	400~600		収穫30日前まで				3回以内	3回以内
にんじん	黒葉枯病			収穫7日前まで					
はくさい	べと病、白斑病 黒斑病	600	収穫30日前まで	1回	1回				
ねぎ	べと病、さび病 黒斑病		収穫14日前まで	3回以内	3回以内				
きゅうり	炭疽病、褐斑病 疫病、黒星病 つる枯病		600~800			収穫前日まで			
	べと病								

## 上手な使い方

- 所定の濃度に水で薄め、よくかきまぜて散布してください。展着剤は必要に応じて加えてください。
- 浸透移行性がない保護殺菌剤で残効性をもっているため、基幹防除剤として、予防的に体系の中に組み入れる事が効果的です。連続使用する場合は、通常7～10日間隔の散布をお勧めします（登録の使用回数内でご使用ください）。



### 使用上の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性薬剤、チオジカルブ剤（ラービンなど）との混用はさけてください。
- ボルドー液などとの連用は葉害のおそれがあるので、7日以上散布間隔をおいてください。
- ばれいしょに使用する場合、極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に葉害のおそれがあるので注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないよう注意してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
  - ・散布は各散布機種ごとの散布基準に従って実施してください。
  - ・散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ・散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行なってください。
  - ・散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意し、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
  - ・散布終了後は、機体の散布装置は十分洗浄してください。
- ばれいしょに対して希釈倍数100倍、てんさいに対して希釈倍数125倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用してください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切ってください。散布器具の洗浄水などは河川などに流さないでください。また、空容器などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。



### 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようし、施用した作物などとの接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

**水産動植物**…水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。

- ・無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管**…本剤は吸湿しやすい条件下では分解して効果が低下するので、直射日光をさけなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。